

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

# 銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 大里 忠 弘

副会長 宮内 榮

幹事 金島 弘

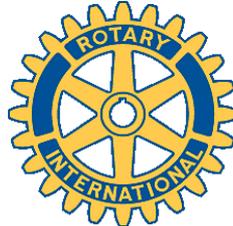
会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RIテーマ

奉仕を通じて平和を

*Peace Through Service*

2012～2013 RI会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

e-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

第2746号 (2013年2月13日発行)

## 今週のプログラム

『幕末水戸出張記』

銚子タクシー株式会社

社長 吉原正巳様

## 前回の例会報告 (2月6日)

点鐘： 大里 忠 弘 会長

国歌斉唱・ロータリーソング：奉仕の理想

### 会長挨拶

先週の土曜日2日には地区R財団により補助金管理セミナーが行われています。当クラブからは、青野国際奉仕委員長が出席されました。お疲れさまでした。翌日曜日は節分の日でしたが成田山では恒例の大相撲力士や、今年のNHK大河ドラマの出演者による豆まきが行われていました。私などは子供の頃から（鬼は～外、福は～内と）厄除けに豆をまいていましたが、ご存知のように最近では恵方を向いて、お願いごとをしながらひたすら無言で巻きずしを食べる「恵方巻き」なる風習が行われています。この風習の起源ははっきりしてい

ませんが、起源は江戸時代の末期から明治時代の初め頃にかけて大阪の船場で、節分に前年の災いを払い新しい年の幸運を祈る一種の厄払いとして、商売繁盛・無病息災・家内安全を願ったことが始まりと言われています。巻きずしを食べるようになったのは「巻く」ということから「福を巻き込む」、「切らずに食べる」ことから「縁を切らない」という意味が込められているという説が有力だそうです。また、巻きずしの形が黒くて太いことから、鬼の金棒にみたくて豆をまくのと同じように鬼の金棒を食べて鬼退治をする意味もあるようです。この風習は明治時代中頃には廃れてしまったようですが、どうもコンビニの販売戦略によって復活し現在では全国に広まったようです。実は私も今年初めてやりました。願いが叶うかどうか



米山奨学生 金さんに奨学金の授与



第2790地区

ガバナー 得 居 仁 (松戸東RC)

会報委員

大岩將道、坂本尚史、越川信一

かはわかりませんが、単純に美味しかったです。  
 昨夜は、先に申しあげました補助金管理セミナーを受け国際奉仕委員会が青野委員長はじめ宮崎米山奨学会委員長、児玉R財団副委員長、そして今後の奉仕プロジェクトが年度をまたぐようになるので次期国際奉仕委員長の高橋会員も出席し、開催されました。先ず、宮崎委員長より当クラブにおける米山奨学金寄付状況並びに委員会の活動内容、青野委員長より財団の寄付の状況等報告があり、順調に推移しているということでした。その後青野委員長より地区セミナーについての報告が行われましたが、新地区補助金、グローバル補助金の内容を聞くと、単年度では済まない奉仕プロジェクトとなり、財団への申請、事後処理の審査が今より厳格に行われるとの事から、今後の我がクラブの方向性も決めかねないものと理解し、熱心に討議されました。今後理事会で討議検討していかなければならないと思います。皆さんもご理解ご協力お願い致します。

## 会員の記念日



- ◇ 誕生日おめでとうございます。  
 桜井 広和 会員 (1月31日)  
 織田 吉郎 会員 (1月31日)  
 植田 正義 会員 (1月31日)
- ◇ 入会記念日おめでとうございます。  
 大里 忠弘 会員 (2月5日)
- ◇ 創業記念日おめでとうございます。  
 島田 洋二郎 会員 (2月)

## 会長報告

### 第8回理事会報告

- 第1号議案 2月3月4月プログラムの件  
 ……原案承認
- 第2号議案 合同例会決算案の件  
 ……原案承認
- 第3号議案 IMの件…2月17日(日) 黄鶴  
 点鐘 13時30分、参加予定者 17名  
 発表者：高橋宏資クラブ情報委員長
- 第4号議案 親睦の件…4月21日(日) 決定  
 行き先は横須賀・横浜方面
- 第5号議案 中間決算の件 ……原案承認
- 第6号議案 国際奉仕の件 ……今後決定する
- 第7号議案 新入会員の件 ……原案承認
- 第8号議案 大多喜RC50周年の件  
 ……会長・幹事が出席する
- その他 a) クラブ協議会の件  
 ……会長・幹事に一任

## 幹事報告

1. 週報拝受  
 ……銚子東RC、波崎RC、鹿島臨海RC
  2. 米山奨学生奨学金終了式及び歓送会のご案内  
 ……ガバナー事務所
  3. ロータリークラブの平和活動をご紹介下さい  
 ……ガバナー事務所
  4. 五十周年記念例会開催の御案内  
 ……大多喜RC
  5. 確定申告用領収書送付の件  
 ……公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
  6. 千葉科学大学RAC卒業生送別会の御案内  
 ……千葉科学大学RAC吉田会長より
  7. ロータリーニュースレター2013年2月  
 ……ロータリー財団
- 例会変更  
 小見川RC：2月20日(水) IMに振替

お客様

◇ 米山奨学生

金 ユリ 様

ニコニコ

本日はなし

<卓話>

《カンボジア地雷撤去ボランティア》

NPO法人テラ・ルネッサンス

理事 鬼丸昌也様



—テラ・ルネッサンスを  
設立したきっかけは？

一つは、高校三年生の夏休みに参加した「一食を捧げる運動」のスタディーツアーです。ツアーで訪れたス

リランカで、農村開発運動の創始者であるA・T・アリアラトネ博士と出会い、博士からいただいた「一人ひとりに未来をつくる力がある。その力がみんなにあることを信じるならば、必ずすべての出来事は変えることができる」という言葉に胸を打たれました。世界を変えるために、僕にも何かできるかもしれないと思いました。

そして、大学四年生のとき、地雷原を訪れ、衝撃を受けたのです。そこは「生活の音」のない世界でした。話し声や洗濯や料理をする音も聞こえない。聞こえるのは地雷除去要員の静かな息遣いと金属探知機の音だけ。なんとかしなければいけない。僕には地雷除去の知識も技術もなければ、多額の寄付もできないけれど、何かできないだろうかと考え抜き、現地での体



験を伝えることならできると思い至りました。

帰国後、NPOのミーティングなどで講演を重ね、その活動を事業として確立しようとテラ・ルネッサンスを設立しました。以来、カンボジアの地雷除去支援、ウガンダでの元・子ども兵の社会復帰支援などの活動を続け、今年で十二年めになります。

社会の課題を解決するという目的を追求することが大事であって、手段はなんでもいい。時代や社会の要請に応えられる組織は継続し、応えられない組織は潰れていくと思っています。活動をするなかでは、うまくいかないことや、失敗することもあります。でも続けられるのは、自分成長を感じていけるからです。人のためではなく、自分のためだからです。人間は自己成長に最大の喜びを感じるといわれますが、自分のことは他者との関わりのなかでしか確認できません。社会貢献とかボランティアとか、身近な人を応援することも、みんな自分のため。そうして続けていくと、他者と自分の利益が一致していくと思います。世界の大きな幸せと、自分の小さな幸せは、切り離すことのできない一つのものだと思います。

—昨年からの東日本大震災復興支援取り組みについて

震災復興支援については、迷いました。国内支援の経験はなく、東北に人脈もない。期限を決めて活動しないと、途方もない費用と人材が必要になる。どうすべきか、職員と話し合っていると、ウガンダのスタッフから電話が入りました。「お世話になっている日本人がひどい被害を受けている。何かできないかと思い、スタッフと元・子ども兵の社会復帰プログラムを卒業して働いている人たちで募金を集めました。

日本の事務所はどうするの？」と。ウガンダの公務員の月給は約七千円なのに、一日で集まった募金は五万円。僕たちには支援しないという選択肢はなくなりました。それからすぐに支援物資を送ったり、現地での活動を開始し、そこで出会ったボランティアの人たちと僕たち職員とで、大槌復興刺し子プロジェクトを立ち上げました。

東北に伝わる刺し子の技術を使った製品を、被災された方自身に製作・販売していただくプロジェクトです。現地入りして、被災した方たちも、自分も復興のために役に立ちたいと思っ  
ていらっしやることを知りました。男性は瓦礫撤去などがありますが、中高年女性のすることがない。そこで、「役に立ちたい」という心に光を当てた支援をさせてもらいたいと思ったのです。

津波で妹さんを亡くされた七十代の女性は、なぜ自分が助かったのかと複雑な思いを抱えていました。そんななか、刺し子プロジェクトに参加し、自分にもできることがあると実感しました。すると元気が出てきて、妹さんが営んでいた焼鳥屋を再建しようと決意しました。その話をネット上で知った人たちが、食器や機材などを送ってくれるようになり、刺し子で得た収入を併せて、昨年十二月、仮設商店街に焼鳥屋を再建されました。

僕たちは小さな団体なので、大きな支援はできません。最大ではなく、一人ひとりに応じた最良の支援活動をしたいと考えています。

一ボランティア活動に参加したいと思っても、日々の生活に追われ取り組めないという人も少なくありません。

僕はありがたいことに、仕事として社会貢献活動に携わることができます。でも、世界中の人が社会貢献活動をしていたら、社会は回らなくなります。

何か物事を始めようとするとき、できるかできないか、百かゼロかで判断しがちだと思いますが、百ではなく0.01でもいいと思います。ゼロだと、いくら掛けても0ですが、0.01なら、いつかは一になり、十になり、百になる。できるところに光を当てればいい。「百円の募

金ができだ」でも、「ニュースを見て心が痛んだ」でもいいのです。一日のうちに一分でも、さまざまな状況のなかで生きている人たちがいると思いを寄せられればいいと思います。自分一人の力は微力かもしれないけれど、無力ではないのですから。



**【出席報告】**

会員総数 40名 出席計算 39名  
出席：30名 欠席9名 出席率 76.92%  
欠席：阿天坊君・石川君・伊東君・栢尾君・  
越川君・宮崎君・坂本君・高木君・  
高瀬君

**【M U】**

地区委員長合同会議 (2/3)  
島田君

**【ニコニコ】**

|         |         |   |           |
|---------|---------|---|-----------|
| ニコニコBOX | ¥ 4,000 | 計 | ¥ 342,930 |
| スモールコイン | ¥ 2,900 | 計 | ¥ 43,006  |
| 米山BOX   | ¥ -     | 計 | ¥ 37,274  |

**次回のプログラム (2月20日)**

『自民党・民主党の仕分けを経験して』

千葉科学大学副学長

伊永隆史様

お弁当：大新 (幕の内)